

令和４年度市民提案型ごみ減量活動等補助金 交付決定実績一覧

1. 先進のごみ減量等モデル事業

1. 先進的ごみ減量等モデル事業					(円)	(円)	(円)
番号	申請事業名	申請者名等	事業概要	事業実績（成果・達成度）	補助申請額	交付決定額	確定額
1	フードバンク木津川	特定非営利活動法人 手をつないで	フードバンク事業の理念を一般に広く周知すると共に、その事が食品廃棄ロスの削減にも繋がることを知っていただく。また食品メーカーや販売店様にも同様のご理解を頂き、フードバンク活動の充実を図る。今年度5,000点の食品寄贈を目標とする。	フードバンクへの理解が進んだことにより、新規に1スーパーの協力を得ることができ、市内5スーパーと社会福祉協議会3支所で、通年フードドライブを実施。また、各スーパーでレジ前の目立つ場所への設置を進めていただくことができ、市民から提供される食品の数量が増加しました。フードバンクを通じてごみ減量化についての理解が深まっていると考えています。	300,000	300,000	300,000
		理事長 破石 俊夫				上限額	
2	食とモノのRe-bornプロジェクト	kichi_lab_art	(A)「もってけドロボー蚤の市」 古くても良い不要なものを市民から募集。SNS等で発信、欲しい方を呼びかけもってきていただき、もってかえていただき、ゴミの削減につなげる。また、リサイクル品を洗って使うダーニング（衣類の補修）のワークショップを開催し、モノを大切に使うことを日々の暮らしの中で実践できることを広めていきたい。 もってけドロボー蚤の市（利用者目標：利用者1,080人 54日開催×20人） ダーニングワークショップ（利用者目標：利用者20人 2日開催×10人） (B) エシカルカフェ「わんこいん食堂」（利用者目標：利用者120人 3日開催×40人） 木津川市産の規格外野菜を使った夕ご飯をわんこいん（大人500円、子ども100円）で提供。また、賞味期限間近の食材を寄付してもらう「フードドライブ」をキチキチが窓口拠点となつての回収＆提供し、わんこいん食堂に来られた方にも利用してもらうことで、フードロスの取り組みを進める。また、規格外の野菜を生産者からいただいて食材として活かす。調理の過程で出た生ごみは、コンポストで堆肥を作りキチキチ農園の野菜を育てながら、わんこいん食堂の食材で使用できるよう、循環型の仕組みを作る。	(A)「もってけドロボー蚤の市」（利用者1,350人 54日開催） 古くても良い物を募集し、SNSでの情報発信や会場での展示により必要な方へつなげ、ゴミの削減を図ることができた。また、リサイクル品の古い毛糸を子どもの絵画造形教室でオーナメント作品として活かすことができた。 (B) エシカルカフェ「わんこいん食堂」（利用者132人 3日開催） 木津川市産の規格外野菜を使った食堂は低価格で提供することで、子育て世代を中心に多くの利用者に好評を得ることができた。フードロスを推進するだけでなく、利用者に地産地消を呼びかけることにもつながった。また、食堂で出た生ごみは、竹チップを使用して堆肥を作り、キチキチ農園の野菜を育てて、食堂の食材として活かすことができた。	300,000	300,000	300,000
		代表 加藤 史江				上限額	
3	生ごみ堆肥化	6丁目生ごみ堆肥の会	地域で協力者を募り、家庭から出る生ごみをEMボカシで処理して貰い、それを回収して、処理場で攪拌熟成させ堆肥にする。できた堆肥は、協力者の家庭菜園で活用する。この事業は3年前にスタートし、今年は4年目に入る。 過去3年間で必要な設備は一応完了した。今年度は、堆肥の成分分析を行い、肥料としての有効性を検証したい。	生ごみを焼却せず堆肥化することにより、可燃ごみの減量と二酸化炭素の抑制に寄与し、資源の再資源化を図ることができた。また、堆肥の成分分析を行うことにより、市販の肥料より劣っていないことを確認することができた。	148,300	148,300	99,603
		代表 佐々木 重規				必要額	
4	制服のアップサイクル	イメール	市内広報を利用して、不要になった制服の回収を行い、補修やクリーニングによるアップサイクルを施したうえで、希望者に向けて譲渡会を開催します。制服のリユースを推進し、廃棄される制服を減少させます。 100着譲渡を目指す。対象校・活動に協力してくれる学校（少なくとも1校）を増やして活動を広げていく。	初年度の目標として、100着の制服回収・譲渡を設定し活動したが、実際には活動を広く知ってもらうためのホームページ開設・回収BOXの設置に注力し、制服類約130点の回収及びクリーニングを行った。今年度の活動として、回収した制服類を譲渡するまで繋げられなかったが、毎年処分されている制服を回収することができ家庭における可燃ごみ量を減少することができたと考えています。	300,000	300,000	300,000
		代表 川崎 あき				上限額	
小計					1,048,300	1,048,300	999,603

2. 地域内ごみ減量等推進事業

2. 地域内ごみ減量等推進事業					(円)	(円)	(円)
番号	申請事業名	申請者名等	事業概要	事業実績（成果・達成度）	補助申請額	交付決定額	交付決定額
1	自分たちのために、未来のために 使い捨てない暮らし方 ～私たちにできること～	木津川市こどもエコクラブサポーターの会	生活の中で減らしにくいと言われる使い捨てプラスチック、その中でマイボトル等で代替が可能なペットボトルの使用を減らす仕組みとして、給水スポットの協力店舗を増やして給水スポットを利用しやすくし、使い捨てプラスチックについての問題や課題を伝え、行動に移してくれる人を増やす。 1）昨年度からスタートした給水スポット協力店舗・事業所をさらに募る。（目標10店舗追加） 2）既登録店舗への利用実態調査（利用が見込まれる6月から10月頃予定）。 3）市民等利用者向けに、給水スポットをチラシやイベント等で啓発するとともに、利用者アンケートの実施。（回収目標 50名。その全員に給水スポットを知ってもらい、ボトルを携帯するメリットを実感いただく。）	イベントでの利き水（参加者60名）や給水スポット（イベント時の利用者88名）の体験を通じて、ペットボトルを少しでも減らし、マイボトルを持つ意味や、既に市内に給水スポットが増えていることを多くの人に伝えることができた。また、イベントをきっかけにいくつかの事業者と、マイボトルを広める活動について共有し、次のつながりを得ることができた。 既登録店舗への利用実態調査は現在実施中。給水スポット協力事業所は、21事業所となりました（1店舗閉店、4店舗新規参加）。	99,820	99,820	99,820
		代表 立花 志保			必要額		
小計					99,820	99,820	99,820

3. 地域型ふれあい収集事業

					(円)	(円)
番号	申請事業名	申請者名等	事業概要	事業実績	補助申請額	交付決定額
	申請無し					
小計					0	0

(円)	
補 助 申 請 額 合 計	1,148,120
交 付 決 定 額 合 計	1,148,120
実 績 報 告 確 定 額 合 計	1,099,423